

令和6年度学校運営連絡協議会実施報告書の記載事項について

令和6年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立橋高等学校 パートナースhip協議会（学校運営連絡協議会）（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長、事務局長（企画広報主任）、局員（企画広報部）計3名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長（2）、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任、企画広報主任、図書部主任、計9名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
地域企業（2）、地域教育アドバイザー、教育庁関係者、墨田区関係者（2）、警察関係者、消防庁関係者、PTA会長、近隣中学校長、近隣自治会長 計11名

2 令和6年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
第1回 令和6年6月21日（金）内部委員9名、協議委員3名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題
本校の現状と課題等説明、意見交換
第2回 令和6年11月21日（木）内部委員9名、協議委員4名
予算概要、新成績処理システム、身だしなみ指導、学校行事、インターンシップ、進路状況、学校説明会参加者数、図書館運営、委員会活動について、各学年の取り組みについて、質疑応答
第3回 令和7年2月19日（水）内部委員9名、協議委員4名
施設関係の対応、年間行事報告、身だしなみ指導、インターンシップ、進路状況、年間広報活動学、図書館運営、委員会活動などについて、各学年の取り組みについて、学校評価アンケートの評価・分析
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
第1回 令和6年11月21日（木）内部委員2名、協議委員2名
学校評価の基本方針の確認、今年度の学校評価の実施に向けた検討
第2回 令和7年2月19日（水）内部委員2名、協議委員1名
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
・12月 全校生徒 対象：515人 回収：335人 回収率：65%
・12月 保護者全員 対象：515人 回収：108人 回収率：21%
・12月 地域・住民 回収：37人
・12月 教職員 対象：54人 回収：54人 回収率：100%
- (3) 主な評価項目
・※学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備、ライフ・ワーク・バランスの推進等
- (4) 評価結果の概要

① 教員

○体罰防止に関する項目の評価が高く、服務に対しての意識は高い。授業や進路に関する項目も高く指導の徹底が図られている。

○他の都立高校では少ない図書部という独立した分掌によって、生徒への読書指導について高い評価となっている。

●制服指導についての評価は低い。次いで挨拶・遅刻・部活動等も低く、組織的な改善の必要性がある。

② 生徒

○橘高校に入学して良かったと回答する生徒が多く、5人中4人が肯定的な評価である。

○学習指導・進路指導面の評価が高く、習熟度別指導や少人数制授業が浸透している。

●すべての項目で肯定的な回答だが、生徒指導全般については、さらなる指導を求める回答もあった。

③ 保護者

○橘高校に入学して良かったと回答する生徒が多く、5人中4人が肯定的な評価である。

○PTAの積極的な行事参加もあり、満足する意見があった。次年度以降も、継続的によりよい学校行事を進めていく。

●家庭連絡を要望する声が多い。保護者コミュニケーションシステムの活用と保護者への浸透が急務である。

④ 地域

●全体を通じて、PR不足であり、総合的な評価は低い。学校からの情報発信の改善が急務である。

●生徒の通学マナーに対して、改善のコメントが数件あった。指導を徹底していく。Webページ、

4 パートナーシップ協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

（1）パートナーシップ協議会を実施して得られた成果

・地域の産業界からの貴重なアイデアや意見を伺い、本校への期待、要望などをじかに知ることができた。

（2）パートナーシップ協議会を実施して明らかとなった課題

・産業教育、企業連携、キャリア教育等の充実のために、今後も地域との親密な連携が重要である。

・授業力向上、進路指導の充実について、一層努力することが必要である。

・情報発信力の向上が課題である。

5 パートナーシップ協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

（1）学校運営

・産業科高校としての特色を明確にし、保護者及び地域への情報発信の方法について工夫改善して、学校の教育活動に対し理解を得るよう努める。

（2）学習指導

・産業科教育の充実と、「主体的対話的で深い学び」の実現に向けた取り組みを実践する。

（3）特別活動

・部活動加入率の向上を図り、部活動の活性化を生徒の充実した学校生活の実現へとつなげる。生徒が学校行事における様々な体験活動を通して、学校生活を充実させられるよう努める。

（4）生活指導

・セーフティ教室において警察との連携を図るなど、マナー、ルールの指導を一層充実させ、生徒の規範意識を向上させる。教職員の指導における共通理解と共通実践を課題とする。

（5）進路指導

・キャリア教育のさらなる充実を図り、企業やハローワーク、大学や専門学校などと連携し、生徒の進路実現を叶えるきめ細やかな進路指導を行う。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

（1）協議委員人数 11人

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
4	3		0	0	0	4

（3）自由意見（抜粋）

○アンケート結果において、生徒・保護者ともに、5人中4人が入学に対して肯定的な評価であったとのことであり、満足度が高いと感じました。

また、第3回協議会の際にも発言させていただきましたが、地域事業者との連携について、引き続き支援して参りたいと存じますので、何卒よろしくお願いいたします。

○途中で退学する学生が多いのは残念ですが、在校生5人4人が満足しているのは立派なことだと存じます。不満をつぶすより、満足している美点を伸ばす方が、入学志望者を増やすことには有効だと考えます。卒業生も含め、橘高校ファンの生の声を、web サイト・SNS・入学案内などで、PR をされたらよろしいかと思えます。

○PTA 会長として会議に出席し、貴重な経験をしました。今後も 地域や PTA 教職員と連携し 最終的には子どもたちの為によりしくお願いいたします。